



我以外皆我師也

校長 田口 利一



『我以外皆我師也』

これは皆さんもよくご存知の小説「宮本武蔵」で有名な作家の吉川英治さんの言葉です。

自分自身をふり返ってみると若い頃は、人に負けたくないという気持ちが強くて、人から学ぶという気持ちには、なかなかなれなかったと思います。いつからかは覚えていませんが、「自分のまわりのものすべてが先生」と思えるようになりました。心のどこかで、自分の願いや夢を叶えるために今よりも進化したいと思うようになったからだと思います。

先日まで行われていた冬季オリンピックでは、テレビや新聞、ネット上で、選手たちの活躍が連日報道されました。試合後のインタビューの中には、夢を叶えるためのヒントがいっぱいありました。

『成長するというのは、学びが多いということ』

スピードスケートの小平奈緒さんは、「バンクーバーは成長、ソチは屈辱、今回はまた成長。成長するというのは、学びが多いということ」と、試合後話していました。その言葉から、多くの学びが成長につながるということ、成長するには、体験から学んだり、自分から求めて学んだりすることが大切であるということに改めて思いました。

『金メダルは名誉、でも生き方が大事』

また小平さんは、「金メダルは名誉、でも生き方が大事」と話しています。フィギュアスケートの羽生結弦さんもスケートの技術だけでなく、自分の取り組む姿勢や人としてのあり方も見つめ、磨いているということが記事に載っていました。結果も大事ですが、結果以上に日頃の生活姿勢やものの見方・考え方が大事だと思いました。

私の『我師』は、もっと身近にいます。それは子どもたちです。勉強、一輪車演技、大縄跳びなどに前向きに取り組む姿、作文や日記に綴ってある思いから多くのことを学ばせてもらっています。

努力して結果が出ると、自信になる。
努力せず結果が出ると、おごりになる。
努力せず結果も出ないと、後悔が残る。
努力して結果が出ないと、経験が残る。

飯地小学校の子どもたちは、「なりたい自分の姿」「あこがれの自分」のイメージをしっかりとっています。これからも、自分の願いや夢に向かって、すべての人や自然を「自分の先生」として多くを学んでほしいと思います。

< 2月の活動から > 百人一首大会



毎年恒例の百人一首大会。今年は2月の開催となりました。今年初めて参加する1年生も冬休み前からそれぞれの目標に向けて、1枚でもたくさん取れるように歌を覚えてきました。

当日は上の句が読まれると、すぐに札を取る子がたくさんいて、大会に向けて頑張ってお歌を覚えてきた成果を発揮することができました。目標をもって競い合うことで、達成感や満足感、あるいは悔しさをばねに頑張る気持ちを身に付けさせていきたいと考えています。

< 結果 (の数字は学年) >

高学年の部(4~6年) 低学年の部(1~3年)

大縄跳び大会



先月から練習してきた、大縄跳び大会を行いました。練習の成果を発揮するために、集中して2回の本番に挑みました。

結果は、2チームとも本番で最高記録を出すことができました。県内の他の小学校の、インターネット上に登録された記録と比べると、飯地小の2チームは1位と5位という、たいへん素晴らしい結果を残すことができました。

動物愛護教室



動物愛護教室として、飯地小学校の大先輩でゴリラ等の研究で著名な伊東祐朔先生にお越しいただき、お話を聞きました。

先生は、アフリカに何度も行っておられ、そこで撮られた多くの写真を見せていただきながら、ライオン、ゾウ、そしてゴリラのお話を聞きました。

動物たちは家族を大事にしており、仲間と仲良く暮らしている。しかし、人間が開拓をしたり、争いごとをする中で、ゴリラの住んでいる所が減少していることも教えてもらいました。また、先生は最後に、「私たち人間は一人では暮らしていけない。多くの人のお世話になっているから、けんかはしない。仲良く暮らしましょう。」と話されました。

伊東先生のお話を聞き、子どもたちも世界観が広がったと思います。

表彰 おめでとうございます。

第14回恵那市こども版画コンクール

広重賞

恵那市文化振興会会長賞

奨励賞

入選

3月の予定

2日(金)6年生を送る会 学校評議員会

23日(金)卒業証書授与式

26日(月)修了式・離任式